

## ダムの諸元及び主な地震・洪水等の記録

ダム名：雨畑ダム

ダム設置者名 (日本軽金属(株))

検査日 令和元年5月30日

### (1) 諸元

水系：富士川水系
河川名：雨畑川
目的：P

※

※F：洪水調節，N：不特定用水・河川維持用水，A：かんがい用水，W：上水道用水，  
I：工業用水，P：発電，S：消流雪用水，R：レクリエーション

ダム分類※	第3類(類)	総貯水容量	13,650(千m <sup>3</sup> )
ダム型式	片側越流型 コンクリートアーチダム	有効貯水容量	11,000(千m <sup>3</sup> )
ダム完成年月	昭和42年1月	平常時最高貯水位	445.00(EL. m)
ダム高	80.50(m)	洪水時最高水位	446.34(EL. m)
堤頂長	147.582(m)	計画高水流量	
堤体積	72(千m <sup>3</sup> )	設計洪水流量	984.00(m <sup>3</sup> /s)
非越流部標高	447.00(EL. m)	既往最大流入量	1073.53(m <sup>3</sup> /s)
集水面積	99.7(km <sup>2</sup> )	洪水調節方式	
湛水面積	0.586(km <sup>2</sup> )		

※第1類～第4類を記入

洪水吐き(常用)	クレストゲート(8.000・8.900)、2門
洪水吐き(非常用)	
利水(低水)放流設備	

### (2) 主な地震・洪水等の記録

既往の主な地震記録	平成23年3月11日22時31分(静岡東部) 天端Ogal⇒無、基礎部Ogal⇒無 早川高住：震度3 山梨中西：震度5弱
-----------	--

既往の主な洪水記録	平成30年9月30日(台風24号) 最大流入量：517.15m <sup>3</sup> /s 最大放流量：500.56m <sup>3</sup> /s
-----------	---

既往の主なその他事故等の記録	
----------------	--

雨畑ダム

定期検査結果総括票（維持管理状況検査）

指摘事項・意見（検査官記載）	
管理体制	問題なし
○指摘事項（a判定の場合）	
○意見（b判定の場合）	
ダム施設の維持管理状況	問題なし
○指摘事項（a判定の場合）	
○意見（b判定の場合）	
貯水池の維持管理状況	a判定
○指摘事項（a判定の場合）	
堆砂対策（スルーシングや土砂撤去）が行われているが流入土砂量が多い状況である。堆砂量が確実に減るように対策の強化又は改善の検討が必要である。	
○意見（b判定の場合）	
流水管理状況	問題なし
○指摘事項（a判定の場合）	
○意見（b判定の場合）	
総合判定	（ A ） B, C
<p>総合判定は、以下の区分により記入する。</p> <p>A：直ちに改善の措置が必要である。 （a判定とした検査事項がある。）</p> <p>B：一部問題はあるが、全体的な問題はない。 （a判定とした検査事項はないが、b判定とした検査事項がある。）</p> <p>C：全体的に問題はない。 （全ての検査事項がc判定である。）</p>	

雨畑ダム

定期検査結果総括票（ダム施設及び貯水池の状態検査）

指摘事項・意見（検査官記載）

○指摘事項（a判定の場合）

貯水池の堆砂の状態：a

堆砂により上流部の河床が上昇しており、洪水被害が発生していることから、前回に引き続きa判定とする。抜本的な解決に向け、堆砂対策の計画をとりまとめ、計画的に取り組むこと。

また、変形（変位）等の計測結果に異常は見られなかったものの、堆砂量が堆砂容量を超過しているため、安定計算等によりダム堤体への影響や放流設備の機能について検討すること。

○意見（b1, b2判定の場合）

総合判定

( (A), B1, B2, C )

総合判定は、以下の区分により記入する。

- A : ダムの安全性及び機能への影響が認められ、直ちに措置を講じる必要がある。  
(a判定とした検査箇所がある。)
- B1 : ダムの安全性及び機能は保持されていると判断されるものの、速やかに措置を講じる必要がある。  
(a判定とした検査箇所はないが、b1判定とした検査箇所がある。)
- B2 : ダムの安全性及び機能は保持されていると判断されるものの、必要に応じて措置を講じる必要がある。  
(a判定及びb1判定とした検査箇所はないが、b2判定とした検査箇所がある。)
- C : ダムの安全性や機能に影響を及ぼすおそれがないと判断され、状態監視を継続する。  
(全ての検査箇所がc判定である。)